先生方及び学校側の計画を

新聞局の名をもつて発表す

迫つてきた。十年目を迎え

み、第十回記念祭も間近に

て盛大な文化祭が催されるであろ

洛星アカデミー賞」が与えられる なわれ、一位の作品に対しては「 生徒全員による人気投票ルが行

あたり、洛星会館の落成式も兼ね

「今年は本校の創立十周年目に

例年の如く中間試験もす

事たる第十回記念祭はどの

た本校にとつての最大の行

日及び体育祭と、文化祭との間に

場合には発表のみで「洛星アカデ

と思うが、学校から発表された予 う」と諸君は予測していただろう

で、常識的に見て一位になるには

のであるが、これはあくまで原則

余り好ましくない作品が選ばれた

第10回記念祭日程表

れるのであろうか。担当の

ように計画され、また催さ

10月21日	聖ヴィアトールの祝日
22日	体育祭
30日	(午前) 演劇コンクール
	(午後) 合唱コンクール
31日	(午前) 演劇コンクール
	(午後) 芸能発表会
	自由曲 自由曲

荒城の月

ABC

ABC

MIA B C

力を音えているならばいざテスト

は号令というものを聞いたことが れておらず、ボクの高校時代など

なかつたほどです。

先生に「並び

なく何か懐しいものをも感じまし た。とはいつてもただそれだけで がいるのと堅いムードを感じまし

行動に責任を持つてほしいと

は種々の問題を含んでいると思う であると思う。ともかくこのこと 主催者便もその点では考慮すべき

になってからあわてて猛勉強する

ことを避けるための二つである。 たのでその結果「弁論大会」が廃 つていないが日程が一日短縮され また創立十年目の盛大な記念祭は たことと、文化祭と体育祭を同時 も例年より一日短い二日間となつ 末に催されるということである。 創立以来満十年半になる来年十月 に催すと先生方が大変疲労なさる た。理由は洛星会館の完成が遅れ で記念祝典が行なわれるといわれ (一説には、来年三月に京都会館 一週間の空白があり、その文化祭 個々の催しは先年とほとんど変 真偽のほどはわからな 中、一曲は原則として教科書より だ高校側には課題曲が設けられ 人に与えられる。なお審査は中学 られていて立派な演技をした者個 例年個人演技に対して与えられて やや不可思議なことになつている ミー賞」は与えられないという、 授業がない高校生のために課題曲 ・高校両方合わせて行なわれる。 選出することにしたので、音楽の いる「個人演技賞」は今年も設け

例年とまつたく同じである。た 〇合唱コンクール

理由は、中学校は自由曲二曲

第10回記念祭

夕鶴

笑いの面

観光地誕生す 川ばた

バナナン大将

M1

2

3

H1

あるが以前の「シークレット」

ように、「だらけている」という一る予定である。

2

3

年が参加し、実力を十二分に発揮 今回は、中一から高二まで六学 〇演劇コンクー を設けたもの。 第10回記 コンクー (注) 高一生は芸能という学科で

よう依頼されたのは夏休み前だつ

新聞局の編集子より随想を書く

念祭 ル参加作品 合唱 しく教育的なものを書いて見よう

図画、音楽のいずれかを選択して

止された。

たと思います。それ以来何か素晴

れを実行している人があるなら敬

服に値いする人物であると大げさ

いうことは、それが余程奇異な印

らです。大阪僧行社学院といつて 常に似た雰囲気を持つた学校だか 校が洛星と設立の主旨は違うが非

の旧帝国陸軍直系のような学校で 厳しい規律と厳格な教育が売り物

な教育がどうこういうのではあり 校でしたし、今諸君違にこのよう

ませんが、ボク自身としてはこの

なると思います。

より一層楽しく意義深い記念祭に 責任ある行動をするならば今まで

徹底的に鍛える教育を受けたこと

うな話しはボクの性分には合わな

芸だ堅い話になり、実際とのよ

諸君もそうは思いませんか。一度

「反装行列」についてクラスでで

ラスがあつてもいい頃だと思うが たりで「真の仮装行列」を示すク

も討論して見たらいかがですか。

制服・制帽は勿論のこと、その特

象をつけたに違いありません。そ

まだに洛星の行進を覚えていると

論行進練習などなかつたので、い は、ガヤガヤ騒いでいました。勿

に考えました。

ボクが洛星に来てからもう四年

とか今更思い知らされ、もして

すが、この実行が如何に至難なと 必要もなかろうと思つているので

なさい」といわれ雑然と集まつて

た。ボク自身のことを書いて甚だ

恋縮なのですが、ボクの出た小学

午後には全校の分列行進が行なわ どでも激しく鍛えられ、 力やられる。体操、剣道、柔道な

うつるのです。二学期には文化祭 目に諸君達が生意気なニセ紳士と 思います。それがないときボクの

> 対し得るであろうか。「学校側の 時、誰が正当な理由をかざして反 なるのは明らかであるし、その

一方的弾圧」たとか、「学校は我

体育祭などがあります。諸君達

土曜日の

れました。

考えて見ればなるほどコワイ学

の力で自主的に凡てが行なわれ、

などといつて見ても始まらない。 々生徒から自由を剝奪するのだ」

「転ばぬ先の杖」、もうこのあ

「出船」 と日々心にかけ、気を病んでいた のですがどうも生まれもつての筆

ブルドツクと鮮 いとしのボニー 「コザツク 囚人の歌 対害くよう命じられ、 曜日には遂いに月曜日までには絶 ラウンドの西側の道を何度か通つ ているそうだ」というととでし 無精が「わざわい」したものか た時は随想欄を空白の 表現力ノ弱サカ?)九月七日の土 (実ハ勉強不足カラ来ル言語力、

なりました。(マコト すると強迫され、 まま残して新聞を発行 ニ申シ訳ケナイ)。日 しぶペンを持つ破目と

る。また昨年に引きつづき先生、

ABC

ABC

ABC

たれなどという場合に与えられ にもかかわらず相当の成績をあげ 受験を控えているという不利な点

自由曲

希望の島

路

もし違反し.

たことがあります。今思えばまだ

た。 まさか その 洛星 にボクが来 られていました。 校長は陸軍大佐

に誇りを感じています。何故なら に決して後悔するどころか、大い

いのですが、

服装だといわれています)でも知 殊な服装(日露戦役当時の軍人の

にも友人が衣笠にいた関係からグ 数カ月にもなりますが、それまで

非常に厳しく、

英語は外人が教え

星といつて外人が経営し、規律が の時友人に聞いたところでは「洛

想

われる学年、たとえばル高三生が

ある。「強闘賞」は強闘したと思

た受賞しない可能性もあるわけで

学年が受賞する可能性もあり、ま

賞」が与えられる。したがつて全

したと認められた学年には「優秀

男で、必要に迫まられるまでは助 べたて、数師然と澄ましているの な」日く「校則を破るな」 頃は諸君に曰く「忘れ物をする 中学の校舎だけで、諸君或は諸君 て、体育の教師として行進を指導 けないのです。常々ボクは諸君違 ですが、実はボクとはこのような ……するな」などベカラズ集を並 人間性の弱さ?を隠し持つている 日く「の先輩達が中学側グラウンドで体 育祭の進行練習をしていたことと という混乱のためか、学校におい 当時は学制改革の後で、また敗戦 て規律の訓練などは殆んど行なわ 鮮かに残つています。というのは があり、それがボクの記憶の中に 妙に紳士面をした生意気そうな奴 があることなど知りません。先づ 果か今との学園に来ています。 を守らせる立場に立つとは夢にも 思つていませんでしたが、何の因 学校に来た当初は勿論生徒心得

したり、補導部の一員として校則 だつた人で、看護婦さん以外は先 生も生徒も全員男性でその点でも 担 当 中 ばボクの大部分はこの時期に作ら 田 淳

述べたとともボクの本一高一など日によると全生徒の三分

れ自体は悪くはないのであるが 試合」が実に多くなつて来た。そ ブ活動が盛んになつてきて「対外 →最近、この洛星においてもクラ

の気持ですが、他に

つかしいものです。今

書けないのです。む はこのようなことし 校新聞に寄稿すると 教師の立場として、

者があれば全体責任となり、クラ 先生を待つ、もしこれに違反した 列して歩き、往復の途上で将校に 会えば挙手の礼(敬礼)をする。 また授業開始のベルと共に駅想し 先にもいつたように非常に規律 通学は班別に整 ワカラナイガ) りを持つならば凡ての面でその行 れたと考えるからです。 ライドに対する行動の責任を持 が「プライドを持つものはそのブ 諸君が洛星の生徒であるという誇 て」と話されたが実にその通りで ノボクニアルモノガソノ残素カモ話しをしたり、 一学期の始業式にアラール神父 (但シ今 す。諸君が早くボクの自由な話し 相手になつてくれるのを待つてい 語り合うのは非常に楽しいもので 話したいことは沢山あります。卒 不満、またスポーツの話しなどを 業した人達と酒を飲みながら馬鹿 恋の話しや、心の ×

は学生の対外競技は、学校の休暇

中に行つていて授業を休んでまで

参加はしないということである。

中にも授業を休むのがいやな人が

いるのではないだろうか。外国で

を行うのは不可能であるといって

ことがある。これでは正常な授業 の一くらいが授業を休む(公欠)

も過言ではない。また選手の人の

の厳格な学校で、

本校に似ています。

本校における最 宗教活動 12 近 就い 0 7

に膝をまじえて語り合つたり在学

完

成

中学校裏庭に建築中

方研究をするにあたつて本当

ことであります。これら信者諸君 おいて立派な信者生徒が増加した マス、本年に入つて復活祭などに は各々の学年において多くの他生一のです。 を軽視することができません。 影響をもたらしたことはその成果 の人格形成の面においても多くの 共に益々盛んになり教育面に個人 半程の歳月を経過した今日、日と 利用して宗教研究日を設けて一年一ととであります。また学園内部の 昨年のヴイアトール祭、クリス | 君が参加され名実共に立派な研究 昨年より毎木曜日の放課後時を一徒に有形、無形の力を与えている 行くためにも相互に努力したいも た立派な社会人となつて卒業して 日となし、学校の繁栄のため、ま なつて来たことは私としましても 人的に研究に参加する人達が多く みならず卒業生の間においても個 将来も益々多くの有志の生徒諸

公表するなということである。 なお、数員の歌は既に決定して 〇芸能発表会 練習も始まつたが、曲名は 0

業がない。

演劇

ール参加作品

鳥帽子折と猿の群

いるが、高二・高三には芸能の授

謡曲の三万ラブが日頃の成果 一部は、オーケストラ、グリ 部、二部の二つに分かれてい 〇クラブ展示会

を披露することになつている。第 自己のもつ芸能を発表するもので 一部は希望者(団体でもよい)が 0 生物、写真、天文、山岳、茶道の ば御聖堂と宗教研究室で行なわれ つている。ただし、聖母会の展示 九部と型母会が参加することにな 運動会の当日、中学校校舎で催 切手、 美術、 地歷、

ほかいいようのない事態が起こる 事前に審査されるととになってい ことを考慮して、上演する内容を

しようか。

七、一年生の時、小学校か中学か 高校が御想像にまかせます。 えば絵を書き続ける大きい手で 一初恋はいつ?

が、しかし五十坪余りの宗教研究 ありましたがまだ少したりません 考え、私の知る多くの友達と連絡 そこで私の総べての特てる力にお し、沢山の友人から多くの援助が いて是非宗教研究室を造りたいと つて余りにも設備が不完全である 中に信者となつた生徒諸君と卒業 後における集会などを持つにあた 四、終行、 くとと 雲の国で神話の地。昭和十年十 芦田裕昭先生 新任教師紹介 趣味(絵以外で) 礼儀の正しいこと。 ・洛星の第一印象は。 京都市右京区大枝塚原町 月二十一日生。 島根県大原郡大東町。昔の出 写真、卓球、

ことを前から憂慮していました。

五、ゆとりのある人間になると ー生徒に望むこと

人に自分を見せる時、体のど

める幸を思いつつ項を閉じます。

アラール神父

などと共に話し合い人格陶冶に励

の殿堂をつくります。そして諸君

六、変な質問で困るね。強いてい の部分を強調されますか。 生

> 第五十号をもちまして、私も局 溝入局長引退

中二のファイ

トある方に是非とも

とでこれからの中心となる中三、

難になるかも

しれないのです。そ

体育祭に仮装行列が高校生によつ

う人は少くないだろう。▼毎年、 てでも催してもらいたかつたと思 に一度のことだから少々無理をし 抜けがしたことだろうと思う。年

て行なわれているが、赤面せずに

芦 田 先 十五号に始まり、五十号まで、余 長から身を引くことにしました。

先生の所まで来てもらえば結構で

君、周知の事実と思う。ある人は

うようなものであることは、諸

いう。「日ごろの勉強や厳しい校

入局してもらいたいのです。加地

が「仮装行列」というものかと思 はおれないほど下劣な内容、あれ

この状態が続きますと、一・二年 もすれば、洛星新聞も出すのが困 は現在の高二が新聞部をやめる ととはすまないと思つています。 と、高一が三人、中が一人、中 やめるにあたつて、心残りなこと り喜ばれもせぬ新聞ばかり出した が四人ということになります。 記事が少なくて困つています。そ 則の束縛より逃がれて『青春』 すのでよろしく願います。 らそれに対する答を載せる種のでか。この状態があと二、三年も続 学校側に対する希望、質問などな こでその解決策として、その声が す。中二、中三の諸君、一つフア イトを出して下さい。また、投稿

のエネルギーを発散するのだ」だ

が少し行き 過ぎで はない だろう

あつたように、学校教育上、好ま けば、「シークレット」がそうで

しくないという理由の下に廃止に

音楽を聞

通りの 周知の



たが、

初旬完成の予定であつ (写真は工事中の洛星会館)

なかつた。その弁論大会が廃止さ

君や熱心な聴衆の方はさぞかし気 れのであるから「弁士」志望の諸

の洛星会館は、十一月とできない公算が大きい。 遅 みである。使用は来年にならない 3 ところを語る機会はこれを除いて 徒全員に自分のいわんと欲する 残念なことである。▼全校生

り一日短縮され、 なつたがこれは、非 の配念祭は別報の通 近ずいて来た。今年 「弁論会」が廃止に

▼今年の記念祭が

一位(京阪神・近畿)。題字緑。

よいよ開校ー一流大学入学へ万全

ハンドボール部大活躍ー優勝と

▼十九号

号洛星新聞発刊するについて)

九五五・一・二十。洛星高校い

る・高校執行委員長に高橋君・「

新委員決定ー生徒会活動後期に入

力し合い私達の洛星新聞を立派な は困難でありますので、互いに協

たは主要科目(英語、社会、理科

10

高校夏の制服にネクタイ決

まる

目の平均点が六〇点以下の者、ま

の進学が許可される。但し、

金科

9 8

高松宮杯第七回弁論大会に 富永先生長女御誕生 二九

小林君出場

卒業すれば、無条件で洛星高校へ

それによると本校生徒は本校を

6

院へも講義に行かれる六五 佐藤先生ノートルダム女学

ものに仕上げて行きたいと思いま

ものが三科目以上ある者には、卒 国語、数学)中、五十五点以下の

業証書を与えず落第させられるこ

す。今後における皆様方の指導、

柳達、協力を期待致します(創刊

とになった。

3

(十四号本年度本校の十大ニュー

編集後記」始まる。題字緑

始まる・購買部の牛乳を十円に値・▼二十号

九五五・三・二十三。 主張

まる。題字線

面

徒会)・「学級は生きている」始 た生徒会ー後期予算決る(中学生 一九五六・十二・十。軌道に乗つ

放課後「おやつ」を給与しており ▼去る四月から七月まで試験的に

は無条件)

ましたが、父兄の方々の中には御

▼いよいよ本学年最後の新聞とな

つたので、一つ今まで一年間を通一思います。

(十六号緑陰特集号)

を期するという。(九号高校進学

て柔らかい読物を集めてみました

山の記録、旅の話など、夕原みで

なお、高校に於ける教科は万全

浴

こしゅ

新校舎の落成近し。題字緑色刷

号。題字線

一九芸・八・二十四。

緑路特集

ある洛星新聞の編集に従事するご

とになりました。未知なる私達が

るにいたり私達五名の部員が責任

また、本格的なクラブ活動を見

九五四・五。新入生に対して・

八号

現在使用の紙二面

▼十六号

二面

九五三・十一。図書館ニュース

動軌道へ。題字緑

一九五六・五・二十三。生徒会活

一面

学に励むことを楽しみにしていま も慣れ、皆とともに日々楽しく勉

間を一寸つくりかねますからこれ

2

京都市私立中学対抗駅伝に ホワイト神父様帰国四二一

⑤修道院完成

りますので「おやつ」のための時 になりまして昼食が午後一時にな

卒御了永下さい。(六号おやつ廃

3

ヴィアトール学園第一回記

第位

三元

更半紙色刷り六面

子は無条件・楽しかつた四日間ー

○会ー活発な討論にわく・高校進 | 記念祭迫る−準備全く完了。題字

九五四・六・二四。第五回生徒

一九五六・十・十九。創立五周年

質をつまく果してゆかれるか、は

新聞部に入つて良き新聞を作る重

項が明らかにされた。

生徒の洛星高校進学に関する諸事 ▼本年度の三年生の父兄会で本校

5, 4,

洛星高校発足

七六

修学旅行特集・「文苑」・「静思

▼十八号

西

の協力なくしては発展を望むこと がいくら努力しても、他の諸君達 なはだ疑問であります。然し私達

一九五六・十一・二十一。生徒会

。題字緑。下二段広告

▼六号

更半紙色刷り四面

九五三・九。父号特集号。「お一賞。題字緑色刷りに戻る

砂心得を守らなければならないか

近く発足・十大ニュース・府下私

▼私達が光輝ある洛中に入学して | また、今学期から授業時間が変更

定しました。順位は別表の通りで うものを生徒諸君の投票により決

③山沢君の死去 ④総長の来訪

じて、校内での十大ニュースとい
┃▼の体育館完工近し

面白い記事写真など

も早二カ月、その間学校の内状に

立中高校駅伝ー洛星A二位に入

九五三・六。懸賞作文ー何故生一九五六・二・十六。高校生徒会

50号発刊特集

五十号の壁に達す

▼四号 競争)

ではなくて、生徒全体の新聞なのです。 う。くどいようですが、それには皆さんの協力がかかせない条件なのです。洛星新聞は新聞部の新聞 んのより以上の協力があるなら、百号新聞を見るとき、我々はその発展ぶりには目をみはるでしよ り、現在に達したのです。 したし、何の価値もないような記事もあり、大変な非難を受けたものです。しかし、それを乗り切 まり、やがで現在の新聞紙の半面の物、そして現在の型に至りました。ときには大担な配事もありま とになりました。思えば十年の間に洛星新聞も随分充実したものです。初めは東半紙ガリ版刷りに始 一九五二年六月二日に洛星新聞創刊号が発刊されて以来、洛星新聞も今号で五十号の壁に達すると そのくせ何にも洛星新聞に協力しない、「声」等の投稿記事はこの頃は皆無に近い等です。皆さ 皆の洛星新聞への関心は以外に少なく考じられます。例えば新聞に非難をあびせるだけあび

本号を「洛星新聞五十号特集号」として、今までの洛星新聞の中で目立つたものを載せるととにし

しでも知つてもらいたいものです。 ます。これだけでは洛星新聞の発展のほんの概略しか知ることは出来ませんが、洛星新聞の変化を少

洛星新聞五十号への経過

の死を痛みて・窓・ニュース ーツー洛星初出場(私立中学駅伝 九五二・四。新入生諸君に・「」が使用ー「無断で」と怒る高校 九五三・一。カレンダー・スポ 大木の如く・選善の決心・文芸 終止符。題字線。下二段広告 九五二・七・十四。故近藤保君 九五二・六・二。洛中校歌生る 更半紙色刷り八面 更半紙色刷り六面 更半紙四面 更半紙四面 一九五五・九・二十七。 さような ▼二十二号 二面 ▼十四号 高校生の生徒会費中学生徒会 ▼十三号 足へ・「声」始まる・生徒会の課 舎落成式・卒業式ー中学生々活に らホワイト校長・第七回生徒総会 生。題字褐色刷り。下二段広告 題ー低調続けるクラブ活動。題字 一九五五・五・十八。生徒会新発 動。題字線

下げ・「群星」に論義集中・新校|一九五七・一・二十三。 一九五七・二・二十五。前途なお ▼二十一号 大版二面 無関心に不満。題字緑 乗出すか(中学生徒会) 積極的に ー生徒の

多難な生徒会の運営・院書調査ー 一九五七・三・二十三。祝第三回 衣笠」始まる・低迷するクラブ活しる・「映画」始まる・「特ダネ」 「文学書」「史書」がお好き・「 ▼二十八号 六面)・道徳教育をどう思うか

始まる。題字線。下二段広告 ▼二十七号 四面

谷君。 題字線 開かる ・道徳教育をどう思うか・ ▼二十六号 四面 一九五七・十一・三十。生徒総会

・「先生を料理するマナ板」始ま 難関に一会費値上け問題で(高校 一九五八・一・二十五。森藤政策 (続)

図書館六年間の歩み・局長に時野

か一考える必要ある規則の実行・

一九五八・二・二十五。第一期生」」始まる・「隋想」始まる

▼三十二号 四面 第二号発刊

会活動始まる・記念祭を省みて・

一九五八・十一・二十。後期生徒

学旅行ー色々見て歩記。同窓会版 勝・なくなる図書館の本・高校修 京都府私学総体ーハンドボール優 ▼三十八号 四面 決定・OB文庫

年度五大ニュース・バツクル図案 |達よ・一般によい洛星の評判―中 | 一九五八・十二・二十。祝クリス | ▼四十号中学卒業式・総会意外に低調・今 | 卒業記念号。特集―さらばわが弟 | ▼三十三号 四面 | 新局長に同 新局長(清水)決定・「正木時評」徒会長二十五票差で小城君(H2)

)に決定・延びに延びた運動会・ ▼三十九号 四面 一九五九・七・八。サマー特集 旅行ー富士箱根へ 号。もつすぐ夏休み!・中学修学 一九五九・十・二十。高校後期生 四品

一九五七・十・二十。特望の全校 体育大会ー優秀な戦績。題字線 は永原君・第十回京都府高校総合 長決定・来月中旬には完成ー待望 一九五七・七・十九。執行委員長 一九五七・五・二十三。中学委員 で。下二段広告) 理由は色版だと予算がかかるの 成巧(天文部)・「こんちは先生 生徒会の盲点をつく・大学に入学 ▼三十五号 四面 死去 学入試風景。この時から題字は現 」始まる・魂よ安らかに―上島君 | 者四四一名―第八回中学入試風景 して・僕の受験秘話・日食観測に 在使用のものになる(上田先生筆 九五八・五・二十二。座談会ー ▼三十四号 四面 を祝すー盛大だつた卒業式・受験 てな」始まる マス・生徒会の現状・「やや!!は一九五九・十二・十八。楽しいク 春放談・入学試験せまる・冬休み 一九五九・三・一。第二期生卒業 一九五九・一・三十。座談会一新

始まる

▼四十一号 四面

聞いてくれ

集)ー盛り上がる気運・「文芸」

トマス!・総合雑誌を再び(声特 リスマスを一荘重阪南ミツドナイ

期会長決まる一高校生徒会長に水

中学生徒会長ー管君信任さる・高

念特集号。創立十周年を迎えて・

九六一・五・二十六。十周年記

九六〇・十二・十七。

田君、中学生徒会長は猪本君・第

九回記念祭を省りみて・「みんな

さる・第十期生待ちに待つた入学

校生徒会長には田中軍治君が信任

▶四十五号

四面

三倍の狭き門

▶四十二号 四面

クラブ。中学入学試験終る一五・

入君

▼四十六号

高校第三期生卒業・依然不活発な

九六〇・二・二十二。未来へー

の体育館。題字緑

▼二十三号 二面 当選発表。題字線

く(中学)ー会費十五円値上げ・ ▼三十一号 六面 ▼三十号 出の修学旅行。下二段広告 H・Rはいかにあるべきか・思い 一九五八・七・十六。臨時総会開 でとう一第八期生喜びの入学式・ ヨゼフ・ナドウ校長帰国ー代理に 一九五九・四・二十八。入学おめ

録ー五周年を迎えて・第九回私学

舎完成一厳粛に祝賀式挙行・回想

総合体育大会ー三種目に優勝。題

アトール祭・自からの手でなんと 一九五八・十・十五。追る!ヴィー▼三十七号 四面 小野副校長・大学入試状況・ 始まる・新任教師紹介 一九五九・六・十一。前期生徒会 [What do you think?]

長雲 (高校) 松本 (中学) 両君に 違い・(特別寄稿)政治への関心 アンケートー中二と中一に大きな ・中学生徒会々長革島君に決定・

金ー生徒の猛反省を望む・安保へ クラブと僕達」始まる 僕達はとう考える)ー民主々義と 道院訪問記 始まる・「映画紹介」始まる・修 ▶四十三号 四面 (京大教授猎木正道)・「注文」 九六〇・七・十五。何故たらぬ

▼四十八号

との結果や! 三日にはつ

大学合格順調

想」始まる・洛星の危機・「トピ 祭間近一楽しくやろう・「洛星回 一九六〇・十・十三。第九回記念 そ目的・総体まずまずの成績・

二三七 | 校とは日本の中堅としての人々の 人格・知識を養うという目的のた ツクス」始まる



第41号





号第一期卒業生へ送る写真



第三期卒業生へ送る写真



流感猛威をふるうー二十二、二十 校卒業式ー螢の光、窓の雪……・ 入学志願者願書受付・モース神父 洛星オーケストラ二位獲得・ハン 業生・さらば洛星・量より質かー 一九六一・三・二十一。第四回高 九六一・二・十三。卒業生(第 -ル四連覇成る・新局長に溝 いに全校閉鎖に至る・ 一僕の夢を」始まる・ はばたけ!第四期卒 いかに・本校卒業生 ▼五十号 第一回アンケートの結果・「文化 の工事進む 上部大活躍一高校総合体育大会· 式・この躍進に続け!一京大へ四 理事長けさ来校・念願の洛星会館 特集号その二・創立十周年を迎え ▼四十九号 四面 紹介」始まる)・「聖語解説」始まる・ 十名・大西君のアメリカ便り・陸 クラブ研究発表」始まる・総長新 一九六一・七・十七。十周年記念 ねて(新聞部インタピューその二 十号発刊記念特集号。 て一写真で見る洛屋十年の歩み・ アラールさんとバーンズさんを訪 九六一・十・二十。 洛星新聞五 「名画

徳会長西山君(H2A)信任さる

のお母さん

に聞く・校門完成す

▼四十七号

二

ー第九期生喜びの入学式・高校生

一九六〇・五・四。希望に燃えて

四期)特集。

ンスをつくるあたりは矢張り試

しても、地味な東北人のねばり

千五百メートル

百メートル

营石 (H1B)

(七月三十日氷見市)

二十五教

富田(Mの〇)

五分十三秒六

八百メートル

百メートル

第 (H1A)

ハンド

十二秒七五

高校の部

一位.

爽田 (M1A)

三十三秒五

位

宮田(Mの〇)

二分二十五秒六

張

陸上競技部

三千メートル

位

奥田 (M1A)

十二分十八秒四

初

優

勝

17

輝

日時 九月六日 中学の部

三段飛び

位

お谷(MNB)

十メートル九七

西京極競技場

第16回

体

盛

岡

٤ 対

戦

惜

敗

玉

ハンドボール競技(秋 田 県 湯沢 ▼高校男子の部 盛岡第一10(6-15)8 洛星

CFがゴール前の巧みなフェイ 前半洛星は滑りだしよく、2分 りある一戦であつた。 出していただけに惜しみてあま 思わせる程ドW、BK一体とな ペースでワンサイドに終るかと なく、むしろ立ち上りは洛星の つたタイミングのよさで調子を 試合はスコア程の差は ねらつたが、リードマン山日が 後半、洛星も積極的にゴールを 6-5で逆点されてしまつた。

Wのシュートミスを待ち、チャ ようとする盛岡FW陣の出鼻を のポイントでよくし、速攻に出 攻に顔色なく声一つ出ず全く活 GKの逆を完全につき文句なし 盛岡も伝統をもつだけに洛星下 たたき攻を奏していた。しかし 気がなかつた。洛星BKもFW く優位に立つた。盛岡はこの速 は左に決め、210と幸先きよ 切り込み同じフエイントで今度 3分にも山口が単身ドリブルで の先取点をあげた。 40位から右へシュートを放てば ントで盛岡BKを完全に抜き左 スプレーがみられず、委縮して リア前で立つてしまい、走るバ シュートに頼つたが悪く得点と かむことが大事だつた。何れに 静さが必要であり試合の山をつ なかつた。特にFWはゴールエ が3点のポイントでは力が足ら 切ろうと必死の防戦につとめた た。BKも何とかピンチを乗り て欲しかつた。そのためには冷 かつた。シュートにも気を入れ しまつた。最後まで走つて欲し ミドルシューターRI小森の 一重のデイフエンスをしかれ、

一百メートル

位 野村 (Mのひ)

士二秒七

串

十メートル二六

位

沙谷(M2B)

走巾跳

野村(Mの〇)

五メートル〇

二十九秒五

全体のペースを狂わせてしまい して機をあせつたゴールミスが た。それにしてもFWの無理を ないシュートをゴールに決めら げんわくされた感じでなんでも 8分、10分とポイントしてタイ 合運びに一日の長がみられた。 に地力をあげて来る盛岡にやや が洛星も20分までだつた。次第 つくシュートでまたも先制した 星し 1松本も15分に相手の虚を に持ち込むねばりをみせた。洛 逆に立ち直らせてしまつ 第

13

回 私

学総

体

らながら体験させられた、にが いゲーム内容であつた。 く、また容易でないことを今さ 工がさらつたのだから一回戦を┃▼一回戦 近畿予選で8ー7で倒した兵庫 に屈した一戦であつた。優勝は 勝ち抜いた自信は矢張り大き ▽決 勝 洛星 8(2-2)7 兵庫工 ▼高校男子一回戦 洛星 13 (8-2) 5八幡 洛星 13(8-3)6 添良)

体育大会(9/9·10大阪春日丘 ル近畿地区予選会兼近畿高校総合 第十六回国民体育大会ハンドボー 国体近畿予選 国体出場を飾った。

四、同 五 三、第十六回国体高校府子 二、京都高校春季選手権大会優 第五回京都私学総合体育大 勝(場所 大阪春日丘高) (場所 桃山高) (場所 伏見高) 高校近畿予選優 (場所 洛星)

大会に完全制靭を樹立した。 なお三十六年度高校府下競技

> ドに居並ぶ応援団をわ も二三つまれ、スタン い好天に恵まれ好記録 泳大会が催された。幸 ールにおいて恒例の水 九月七日、

洛星)

一、京都高校新人リーグ優略

かせた。 〇中学の部 「総合」

中学陸上

部

1

回戦(対京都西校)3-0 型 2 212118 1 1 1 151721 卓球 日時 九月十三百 場所 精華会館 藤本(H1人) 五十六秒九 212117 1 1 1 151821 1

四百メートル

第12回高松宮賜杯 全日本高等学校選手権大会

際は自分だけがそのように思うだ 得点 東川高 000 (4-4) 6洛星高 森口野本水 11310 合はどうなつたかわからない惜し した一戦といえる。なお洛星に今 れ、洛星バツクスに思わぬ苦戦を い試合であつた。 歩シュートに正確さがあれば試

ないのであるから、おかしな話し が足せるのだから、進んで一見無 ものであろう。だからといつて雕 である。それも他人がつけるとま けない。補導部に行けば大低は用 かがつけるのを待つているのはい たなんとも思わなくなつてつける けで他人は別になんとも感じてい (洛星) (洛星) (洛星) (洛星) (洛星) (洛星) (墨) シュート=80 4MT=2 GK FB. (各) シュートリ26 反則 122 反則125 HB FW 小山 松精 14MT=C

第五回京都私学

綜合体育大会

つたのか、とにかく少ない。高校とのようになるのであるから、人 けではない。高校生になれば必ず であるが、中学生に関係がないわ 邪気なようなことでもやつて行こ これらは高校生についてのこと 西チームのペースで試合は進めら 出したようだつた。 ードを奪つてから自己のペースを に鋭さを見せた墨田川が3点のリ れた。後半戦ゴールエリアの動き 両チームは、どちらかといえば洛 戦評前半戦共にゆるい動の

関東高校選手権大会を接戦で切り ▽男子二回戦 吳 (胜)との結果、 洛 洛 高 星8 (7.1 星8 (126 31 4大 校

球選手権団体戦に優勝している。 但し東山高は本年度全日本高校卓 回戦(対東山高校)〇一3 梅吉 原 2 212118 161421 原由 2 原〇一 田0-2

▼十月一日午後二時頃、ブラザー

しては大会の雰囲気にやや押さ 月二十日某神父がこの頃には大変 相は不明であるが、新聞局では次 はその種を十つぶ程欲まれたそう 珍しく西瓜を買つてこられた。そ のように推測している。つまり九 をされた。原因については目下真 ブーレンは聖ロカ病院で盲腸手術 とろが運悪く、ブラザーブーレン とで修道院のファーザー・プラザ はさつそく味をためされた。と



10

平平

OLA BIID 〇中学の部 〇高校の部 一百米リレー 三百米平泳 B

う一年間、ペンシルバニヤ州ビツ 国の予定(写真は、高三〇の歓送 を発つて、アメリカへ向つた。向 アカデミーで勉強し、来年八月帰 トバーグのシャディー・サンド・ 験に合格、去る八月十二日、羽田 この度、A・F・S(アメリカン ▼高校三年〇組の佐井孝和君は、 ・フィールド・サーヴィス)の試

一人の楽 ピカ 紹

名

画

介

す。彼の形式、スタイルは多岐に 表現手段ですべてをいいつくした わたり、極度に多彩です。一つの 時、彼は別な手段に変化していま 革新者であり、多面的な画家で ピカソは二十世紀の最も多作な

るじやないか?しかし絵の場合に るものを理解せずとも楽しんでい ました。「誰でも芸術を理解した 家は必要から制作しているのだと は理解しないと承知しない。芸術 唄を理解しようとしないのだろう いと努めている。ではなぜ小鳥の いうことを知つてほしいと思う。 か?人は夜や花や自分の周囲にあ かつてピカソは次のようにいい うな絵に対する新らしい考え方は れを実行しています。エジプトの 代のエジプト人と同じくすでにこ 残ることを知つています。このよ 物のある特徴が他の部分より心に の経験か私たちは目にとめた一事 と足は横から描いたのです。日常 体と目は真正面から描き、領と腕 した。とうして、一人物の姿を身 つきりと出てくる角度から描きま メージに再構成しました。太平洋 画家は人物を、 の北西沿岸のインデイアンは、古 特徴がもつともは

○高校の部 ①一人、②二〇、 7 1 B ® C B (9) | B ▼洛星オーケストラは去る九月二 りました。十月五日で、名前は正 日、土曜コンサートに出演。 ▼本部先生に次男がお生まれにな で、それがたたつたらしい(?)

|木工所が建てられている。今まで | 設備などが予定されている。新設

の便所の跡に新しく

き、そこには洗面所やシャワーの

大会新記録 @||B, @||D, @||A, (9) C

樹である。今後の御生長を祈ろ

や、図面を書く所、また機械類は 屋建てで、材木を乾燥させる所

丸ノコ、椿ノコ、動力カンナ、ロ

のもので、新築中の木工所は、今

内に設けられている木工所は仮り

年度中に完成する予定である。

万円の見込みである。現在修道院

揶監督にあたられ、工費は約百十

に当つてはブラザーブーンーが指

プロック造りで、建坪六十坪、平

の木造建てとは違いコンクリート

洛星会館が建設されているために一人のために、

新しく作業員室もで

▼かつて木工所のあつたところに クロ台などが設備され、作業員五

五十米自由犯予 百米自由型 馬田 (二日) 黒田(二B)一分士一秒 三秒九

人红 (一人) 三分三九秒六 一分三秒七

五十米自由型 万宝(二〇) (大会タイ) 三秒

I III

絵を説明しようとしている人は大 一九二三年頃、同じ二人は三次的 をやつているのだ。」 程の場合全くの見当ちがいのこと

それを平面に分割して新らたなイ は見なれた対象の体積を分折し、 に影響を受けてピカソとズラック セザンヌとアフリカの原始彫刻 呼ばれ、ゴーガンがその綜合主義 あるものは綜合的な立体主義の装 次元の写実的な古典的スタイルで ました。彼の作品のあるものは三 した人体の新しい像を創造してい 体主義を発展させながらピカソは この絵はピエロ、道化者、歌う に発展させたものとなつたのです 理論から使つた平面的形状をさら た。これは「綜合的立体主義」と 高度に装飾的な図案になりまし の独自な美しさと関心をそなえた 合するように変えてしまいまし な空間を単純化し、平板化して実 素描に関連して量感のある、充実 写によるというよりも、それ自身 た。そとでとれらの絵は自然の模 修道士を扱つています。綜合的立 際の画布の二次的な表面により適 一方では、古典絵画、アンブルの

5 0

No.

先生の注意によつて少しは早

が常である。体育祭が真近になつ るものである。頭の中が勉強のと

なると、ぞろぞろと歩いて出るの て体操をするとファイトが出て来 のうつぶんを晴すのは大変らくで

つている。特に中間体操の時間につて出て、おもいつきり力を出し

このごろ高校生の無気力が目だいるのであろう。それよりも、走

粛とどなつても静かになりにくい

だから、いくら誰かが、静粛、静 うような気がするのである。それ ない、自分だけは特別であるとい

のであろう。わいわい騒いで勉強

高校生らしくやろう

いない。体育祭が済んでしまつた

と来て、

今は行進の練習が毎日の

とで一杯であるというような顔を

よっに行われている。その行進しないで、やろうではないか。運 つて出て来るにちがいない。 注意 この時ぐらい黙つておられないは ら、また元のように長いととかか とはなく、行進中の態度はなつてのはいいことであろう。 くなったが、それでもたいしたとってはこのときにでも体操をする の騒がしさは目に余るものがある 動不足になりがちな高三生等にと またそれと反対に、集合のとき

されないかぎり、走つて出るのが、ずはなく、騒いでいる方もそれを生ともなると腕章などをつけるの ことと思わずに考えておいてもら

まりない。つけないでいるうちに

の赤い腕章をつけているものがあ

これも高校生のことだが、週番

うではないか。

もすつきりするものである。 必要であり、またそれでこそ気持 で走つて出るのは、大分意志力が ある。それにひきかえて運動場ま

いつの間にかどとかへ行つてしま

(3)

ある。実際はそうではなく怠けてにそれを絶対にいわなければならごとによらずそうである。だが実 てれくさいような気がするようでよく知つておりながら、そのときがてれくさくなるものである。何

である』北海道』修学旅行が去る

絡船が見え、異様な光景である。

分のととであった。

我々高『の生徒の生涯の思い出

駅で朝食を積め込み、目的の青森

午前四時過ぎのととである。秋田 雪を抱く鳥海山を右手に見たのは である。東北の朝は肌寒く、万年

三十時間後の十九日午後一時三〇 に着いたのが、なんと出発以来約

北海道

る京都を発つたのは朝八時過ぎで 車であつたが、ここから前は蒸気 りに走り続け、夕刻富山に 着い を出して民謡を歌い始めていた。 ちやまと同席であり、彼等は大声 徒は、本願寺参拝の爺ちやま、婆 半にわたつたので、後の半箱の生 ことが出来た。しかし我々は一両 してあつたので、楽々と席に着く た。ここまでは、ディーゼル機関 であるが、一箱我々のために増結 めつた。ラツシュとかち合つたの 汽車は日本海側の米倉をひた走 朝早くから蒸し暑さの感じられ

> 無く、すぐに朝鮮の人達と合唱大 グを気にしていたが、それほどで のは午後五時過ぎ、最初ローリン 連絡船に乗って、青森を発った

大部分の生徒にとつて始めての

ないか。湖上からの湖周は、絵画 又神秘的であつた。アラール氏と | てであつた。行商の人と少時間 キトーツテいて底まで見えるでは ある。船から湖の底を見ると、ス だ。帰りは、湖上を船で渡るので ・三の生徒が十和田湖で泳い さすが十和田湖の朝は、美しく

み合せて読む遊びや、 以上に素晴らしい。 ere What 心響いて、 る文章や、When Who Wh ……と十和田音頭を歌いながら残 帰りの車中は、形容詞を代入す 三拍子揃えてホーイホイ 皆来で踊れシャラリコシャン 適当に組 て、

両一杯にくりひろげられているの 種々雑多な寝姿である。これが車 網棚で寝ている者、他人の足を手

と間違えてなめている者など誠に

た。通路に紙を敷いて夢を見る者

症験であろう車中の夜がやつて来

車内は楽しさが一ばい

湯温泉、白カバ林を通つて青森に 雪の八甲田山や国民温泉の酸ケ 北大ポプラ並木 な。日本最初の機関車が陳列して あたり一面に弁当の花が咲くそう れ人間は監督するだけであり、エ あつた。タローもいた。植物圏を を向える天人峡温泉に向う。 十一時頃札幌駅に向い、そとで旭 印乳業では全ての工程が自働化さ 川行の汽車に乗り、北海道第二夜 業の進歩には、目をみはるばかり 雪印乳業へと向かつた。雪

出を綴つてみたものである。 間行われた。以下はその時の思い 第一日(十八日)→第二百 七月十八日~二十七日までの十日 は、 た。奥入瀬に来るには、大館で汽 うのである。八甲田の山はさすが 八甲田連山を越え、十和田湖に向 通り過してしまつた。これからは 行つた。途中、交通標識が川の中 である。「飛銀の流」「銚子大滝 車に乗り換え、十和田南という駅 甲田を越え、奥入瀬川に 到 達し 三杯飲むと死ぬまで生きられると に肌寒く、途中のカヤの茶屋での り、市街はバスに乗ると十分位で もう少し高級にしたような所であ 森から来る方が、 から来る二つのコースがあるが青 いう、アツい茶をのみ、我々は八 所によると、近年に台風が来て、 」等を通つてずんずん既に入つて に立つていた。アラール氏の聞く あつた。 されているような姿であった。十 湖台からみると両岸から中山半島 道路を水中に、沈めてしまつたと ☆第三日(二十日)→第四日 和田湖に着いたのが、青森・を出 いうわけであつた。十和田湖を瞰 青森のMAIN・STREET 京都でいうならば、干本通を 御倉半島が突き出ていて、二分 約六時間後のPM六時半頃で 景色がよいそう

> て、声を限りに歌い、連絡船での を忘れて、合唱の雰囲気に陶酔し 会をやり、甲板上では時の経つの

約四時間はすぐに経つてしまつた

うである。函館を発つたのが午後 十時過ぎ、汽車は途中、駅をどん の生徒はそれに気づかなかつたよ が最初であつた。船が進むにつれ は、 どん追い越して行つた。 て凾館の町は暗ヤミの中にもハツ キリと見え始めた。しかし大部分 夢にまで見た北海道が見えたの はるかかなたに、港凾館の灯

が激しく戸をたたいたことによっ し、北海道に対する知識も導入し 7 割つたように、すつばりしてい したが、むこうの人の性格は竹を 戸を開けろ」「開けない」で口論 余市駅から乗つて来た行商の人達 北海道で第一夜をあかしたのは 話がつけば気易く話を交換 が望まれ、本当に大自然に圧倒さ 続き、峠の上からは、大雪山連邦 れそうである。 旭川を発つたのが翌日朝早く、

園は本当に静かで、昼ともなると ウモロコシの街頭焼売りも、まだ くの札幌の町は静かで、名物のト 観光バスに乗つて市内遊覧。朝早 ブラ並木を見物し、植物園に行つ 店開きしてない。北大に行つてポ 札幌到着が朝六時半頃、すぐに 車中の疲れをいやした。植物 駅から準急「はまなす」に乗つて 路湖が横たわり、右手に和琴半島 中を過ぎて屈斜路湖第一の展望所 を過ぎ、馬鈴薯の花咲く中、ハツカ に着いた。バスに乗つて美幌の町 ホーツク海の見える手前の美幌駅 平野を突つ走しる。 寒々としたオ 乏して作物らしい物も、見えない めは、はてしなく広がる平野、窮 美幌」に向つた。車窓からのなが 商人さんがいるが、とこも例にも な!」である。名所にはどこでも 以上で、雄大なながめの中に屈斜 よいととは、バンフレットの数倍 の花咲く中、サイロの立つている している観光道路、全く一絶景か 「美幌峠」にやつて来た。景色の 路、阿塞国立公園の北の入口「 左手には樹海の中に白い帯を示

C.



んと二十キロメートルに及ぶので ある。道路まで全く本州とスケー 線道路が敷かれている。 旭川の町はずれから天人峡には直 これがな 天人峽羽衣の滝

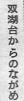
るだけだが、設備は整つていて、 ルが違つている。 多くの人々が訪ずれている。天人 つて行くために、左右に原始杯が一いた。 峡への道は、大雪山国立公園を通 観光資源に恵まれているために、 「羽衣の滝」や「敷島の滝」等の 天人峡温泉には、旅館が二軒あ

夜は静かである。宿の裏を流れ

トラピスト修道院 0

日頃の行いがよいために、神様は 姿を表わしたのである。ガイドさ る小川のせせらぎだけが、寝床に ベールをお取りになったので御座 んの言葉を借りると「あなた達の 神秘のベールを脱いで僕等の前に 危ぶまれていたが、幸運にも全湖 響いてくるのである。翌朝はどん 摩周湖観湖が の上を歩いているような感じ。マ るとぶわぶわしていて、スポンデ 木々でおおわれ、歩く所も上に乗 生きているようである。マリモの ツチしていて水の濁りがかえつて 白い煙と空の色とが大へんよくマ ドの布に触れているような気持。 リモは思つていた程美しいもので なお粉煙を上げている。緑の水と はなく触れてみたが感触はピロー 養殖地の小島は、うつそうとした

よりと曇つていて、



いましよう」とかいつていたこと



2..... 雌阿寒岳の見える双岳台、ペンケ 発。阿寒湖に行く前には、 日の朝刊をにぎわしたことだろう てもらつて、 で止まり、三台目のバスに引張つ は、緑と土を混ぜたような色に濁 水を一杯飲み、又乗り込んで出 したそうな、もし落ちていれば翌 阿寒と車窓からの雄阿寒は山が違 を通り、雄阿寒岳のすぐ下を通つ 山に似ているようだ。雌阿寒も今 船に乗つて湖上遊覧、湖からの雄 て阿寒湖についた。阿寒湖の水 つたように大きく見え、何か富士 あるように思われる。阿寒湖では トウとバンケトウの見える双湖台 途中「清水の沢」で降りて、冷 今見て来た摩周湖と対照的で 無事行き違いをはた 雄阿寒 る。ロータリーを中心として多く た。公園には啄木の歌碑 しらしらと氷かがやき 釧路の海の冬の月かな 千鳥鳴く この離れ難き釧路を発つて、又

車に、 つた「蟹めし」がたいへんうま く、前田先生が買い損い、たいへ と楽しく時を過ごした。ここに於 いた。 ん失望されていた。釧路からの汽 路札幌に向かつた。釧路駅で買 僕達は彼等と合唱、話、ゲーム 旭川東高の応援団が乗つて

杯であつた。昭和新山から

とにしました。

途中まで登るのが精一 奇想天外な山肌で覆わ

旅行中聞くこと四回目の「バナナ 彼等とは富良野で別れた。 徒の層雲峡案内や、かすれた声で 俗びた。彼等はこれに答えて女生 ても、アラール氏の十八番、この 選の心に奥深く印象深く残つてい 達を送つてくれたことは今でも僕 による落語「ジュゲム」であつた した、特に受けたのは、演劇部長 ホームの端から端まで走つて僕 「北上夜曲」など数々披露 大喝采を 合いをして、オール一本折 アラール氏はボートの沈め 車内はゲームの花が咲いて しく、何も景色が見えず、 たということである。 湖温泉はハエや蚊が多く、 湖でひと泳ぎした。この時 宿に帰つてから我々は洞爺 つた。車窓からは、雨が激 後の訪門地「凾館」に向か 晩中悩まされた室もあつ 洞爺湖を発つて北海道最 弁償したそうな。洞爺

ある。これから室蘭行の汽車に 札幌駅に降り立つたのは二回目 n 過ぎ。僕達は豪雨に見まわ いた。 雨の函館の町を遊覧し 凾館に着いたのが屋

させていただきます。御諒

を約束しましたが、あいに

ージャー」を連載すること

く紙面の都合により、省か

れだけ善戦よく闘つてくれ

ます。しかし、初出場であ で敗れたことは、惜しまれ ★先号で「マイ・テイーネーが、盛岡第一高校に10-8

んの御客稿を期待しており 載せる予定ですので、皆さ 号で未来の洛星の想像等を一とつけました。

★我が校のハンドボール部

は、初の国体出場であり、

全員期待を持つて見送つた

承を。

ともに来年を期待します。 たのは、大いに感謝すると

★二学期中間考査も終り、

アイヌ人が、手彫のアクセー

つ二つと買い求めていた。 サリーを売つていたので僕達は ル氏も含む) アラ

に、全部入口に「十八才未満の方 た。こと和琴半島にも温泉がわき は御遠慮下さい」と札が下がつて ラブが立つていた。面白いこと もなく、軒並みにバーやナイトク つてあつた。弟子屈の町は見る所 相撲の巡業宣伝ビラがはつてあつ 温泉町は静かである。町角には大 弟子屈に泊るのである。弟子屈の 出ている。今夜は「大嶋」の故郷 が心ない人のために倒されてい た。和琴半島名物の熊(石造り) キロメートルおき位に立ってい 社基所有杯」と書かれた立札が 大製紙会社の林で「某製紙株式会 を走つていく。道の両側の木々は に、ライバルの柏戸の顔は全部破 なごりつきない美幌峠を発っ さすが大鵬の生れ故郷だけ 和響半島に向う樹海の中の道

道からはみ出し転覆寸前という所 違いをしたバスは、後輪の片側が 点という所。三台目のバスと行き 急坂 急カーブの 連続で スリル満 | 湖上遊覧を終つた僕等は阿寒を発 つて、 町らしく、人々の往来が激しく、 駅から少し行くとロータリーに出 には少し風変りな、商業が活発な も既に紹介されているが、北海道 に向うのである。釧路は挽歌に 「霧の町」といわれる港「釧路」 いよいよ「さいはての町」

て「新ヤヤノはてな」

がらないなら、受付けの辺 ます。よろしく。

つきにする種りです。題し 思います。出来るだけ懸賞 にズバリ当てもらいたいと

の写真が露出過剰になり、

らうと太陽のかけんでと

恋光してしまうからです。

に下級生の解答を待つてい

切りは十一月十日です。特め

函館港を出る連絡船風景

写真を載せていましたが、

な」は先生方の幼ない頃の

先号までの「ヤヤノはて

べなことを告げておられる

現われますから。それと 必らずこの人物君の近くに

でウロウロして御覧なざい

めです。後を向いてもら

付属品が見えませんか。と らい)を見て下さい。何か この写真の頭の部分(中ぐ

れは君の注意力いかんです

新

+ ヤ

はてな

や顔の一部分等により諸君

一方々に)、正面を向いて すが(この新聞を見られ たのは、失礼だとは思い

今号からは、先生方の後姿

も新たな近代的で芸術的な橋があ る。ことは町の中心部らしく粧い ておられますが、 を教えるためでは これは我々に勉強 も大声を張り上げ です。この写真の 人物は我々にいつ 第一回はこの方

なくて、生徒に色

楽しんだ。

一夜明けて、いよいよ今

る。

北海道を訪れた人が難し

の人、車がいそがしそうに動いて こよなく愛した。我々も釧路の町 が立てられている。啄木は釧路を 港釧路を見おろせる公園 に行っ いた。僕達はロータリーを通つて 啄木の気持も解るような気がす とりつかれたような気持になり、 に来てみると、何か離れ難き物に 車はススが出ないし、 田と全然異り、 る。東室蘭から乗つた気動 乗つて洞爺湖に行くのであ 我々はさつそく船に乗り込 爺湖は曇り天気であつた。 そろ悪天候にみまわれ、 動車に変えたら快適だろう み、湖上からは阿寒や十和 と思うのは僕だけではある まい。洞爺湖付近からそろ -ドは早いし汽車を全部気 スピ た。普通なら二時間半のと | 夕方早くから宿にともつて

昭和新山が東の湖岸にそび た水を通して湖底が見え、 湖岸が望め、清く澄み通つ の家が所狭しと建つている 色とのどり の建物もろくろく見ずに、 四方の窓からちらつと、 上げて、トラピスト修道院 も登れず、立待岬や異国風 くて仕方がない。函館山に しても雨が降つたのが惜し の川温泉に戻つた。何んと 全く残念だ。又遠路函館湯 訪ねて来たのに三十センチ に向かつた。はるばる遠路一日は北海道よさよならであ ころ、わずか三十分で切り 「かい主見る」だけとは、 編集後記

一に及ばないであろう。

都へ帰つて来たのは、書く

我々が、その後無事に京

のである。

か心に残つて、去り難いも 送る者、見送られる者、何 も味わう別離の哀愁で、見

え立つている。我々が昭和

新山に登つた時は、琉黄臭

★(聖語解説」休みます。 たいものです。 投稿を待つています。

君は身を引かれることにな一生に修学旅行記事の題を募 それで洛星新聞の五十号に 号発刊記念号としました。 ★第五十号は洛星新聞五十 至るまでの経過を載せると ★今号をもつて局長の溝入 ませんでした。また、高二 年以上に演義あるものにし ★今号では、「声」があり ★新聞局では皆さんの入局

★今号は「創立十周年を迎 | りませんでしたので、新聞 えて」は休みましたが、次 局で「北海道かいまみ配」 記念祭も目の前。今年は去 集したのですが、応募があ